授業科目	保育内容　環境					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	上村　眞生						
授業概要	・保育所保育としての実務経験を踏まえ、保育所における環境を通した保育の展開について講義を行い、アクティブラーニングを通して実践ができるようになる。 ・乳幼児の「環境」について理解すると共に、5 領域の他の領域との関連から見た「環境」について理解する ・保育者の「環境」に係わる知識・技能の獲得は勿論、乳幼児の「環境」についての知識を習得する ・保育の環境構成ができる						
授業形態	講義				授業方法	フィールドワーク プレゼンテーション	

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	・保育者の「環境」に係わる知識・技能の獲得は勿論、乳幼児の「環境」についての知識を習得し、自分の言葉で説明できる ・「環境」にねらいをおいた保育が展開できる
理想的レベル	・保育者の「環境」に係わる知識・技能の獲得は勿論、乳幼児の「環境」についての知識を習得し、専門用語を交えて説明できる ・「環境」にねらいをおいた保育について、適切な教材選択・作成を行い、保育の展開ができる

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	10%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	50%	
その他	40%	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	WE21617J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
分担表の作成 栽培計画の作成 プレゼンテーションの準備	1

授業計画	
第 1 回	オリエンテーション 授業の進行方法・評価方法について説明する
第 2 回	領域「環境」 ５領域の中での「環境」の位置づけについて解説する
第 3 回	身近な環境 1

	保育の中で関わる環境のうち、動物について紹介し、関わり方を考える
第 4 回	身近な環境 2 保育の中で関わる環境のうち、植物について紹介し、関わり方を考える
第 5 回	身近な環境 3 保育の中で関わる環境のうち、地域・社会について紹介し、関わり方を考える
第 6 回	身近な環境の体験 1 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る
第 7 回	身近な環境の体験 2 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る
第 8 回	身近な環境の体験 3 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る
第 9 回	人的環境としての保育者 保育者の「人的環境」としての在り様について解説し、その重要性を知る
第 10 回	保育実践と保育内容環境【A グループ】 保育実践の中での領域「環境」の位置づけについて解説し、保育計画の立案、模擬演習を行う。他のグループは子ども役として参加し、評価を行う。
第 11 回	保育実践と保育内容環境【B グループ】 保育実践の中での領域「環境」の位置づけについて解説し、保育計画の立案、模擬演習を行う。他のグループは子ども役として参加し、評価を行う。
第 12 回	保育実践と保育内容環境【C グループ】 保育実践の中での領域「環境」の位置づけについて解説し、保育計画の立案、模擬演習を行う。他のグループは子ども役として参加し、評価を行う。
第 13 回	身近な環境の体験 4 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る
第 14 回	身近な環境の体験 5 栽培体験・自然観察体験・地域探索を通して、保育に関係する身近な環境について知る
第 15 回	まとめ 保育内容「環境」について、半期間の内容を振り返り、体系的知識として整理する
テキスト	特になし
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の中で適宜指示する
課題に対するフィ	各課題への評価コメントを提示する

ードバックの方法	
学生へのメッセージ・コメント	身近な生活環境(自然・社会・地域等)に関心を持ち、名称や事象についての知識を得ておくことと、積極的に関わろうとする態度が必要 常に「考える」ことを重視し授業を展開するので、自身の考えを持つこと、その考えを他者に客観的に説明することを習慣化しておくこと